

令和5年2月16日 開会

令和5年 第1回 東松島市議会定例会

## 議員一般質問通告書

東松島市議会

《 議員一般質問 目次 》

順位	氏名	件名	頁
第1位	石森 晃寿	1 新型コロナウイルス対策について問う	1
		2 マイナンバーカード交付促進対策を問う	2
		3 国道45号上下堤地区の嵩上げ工事について伺う	3
		4 過疎対策について問う	4
第2位	井出 方明	1 地域の資源を生かした観光の振興について問う	5
第3位	五野井敏夫	1 道の駅の運営・管理はいかに	6
		2 市職員の喫煙と時間的ロスについて	7
		3 公共工事での建設資材急高騰に対する対応を問う	8
第4位	齋藤 徹	1 野良犬、野良猫等に対する餌付けを禁止する条例の制定を	9
		2 小学生へのジャージ交換券の支給を	10
		3 リモートを活用した庁舎内の効率的運用を	11
第5位	浅野 直美	1 女川原子力発電所核燃料税のUPZ自治体への交付拡大について	12
		2 学校給食費無償化による保護者の経済的負担軽減を	13
		3 国際化を見据えた英語教育活動の更なる充実について	14
第6位	千葉 修一	1 道の駅整備計画について伺う	15

第7位	大橋 博之	1	「おいしい給食」の取組を強化すべき	16
		2	健康寿命の延伸を推進せよ	17
第8位	熊谷 昌崇	1	物価高騰対策について	18
第9位	阿部 秀太	1	社会的ひきこもりの理解と対応について	19
		2	家族農業の活性化について	20
第10位	長谷川 博	1	離農の危機、市独自の生産資材高騰対策を	21
第11位	手代木せつ子	1	牛網地区への取組を問う	22
		2	子育て世帯の経済的負担を軽減せよ	23
第12位	櫻井 政文	1	東松島市史編纂を提言する	24
		2	子どもに関する諸課題について問う	25

【質問者数 12人 質問件数 25件】

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>1. 新型コロナウイルス対策について問う</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、減少傾向にあるが、全国では未だに1日当たり約8万人感染している。第8波は、継続中である。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 本市の新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の新規感染者の感染防止策は。</p> <p>(3) ワクチン接種状況と未接種者対策は。</p> <p>(4) 国では、令和5年5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けについて、現在の「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行する方針が決定された。医療費やワクチン接種等について、段階的に市民の負担が発生するようだが、国や県に対して負担軽減の要望は考えているのか。</p> <p>(5) 5類への移行に伴う市民の医療の確保について、桃生郡医師会との調整が必要と考えられるが、市長は、どのように考えているか。</p> <p>(6) 本市では、市立病院がないため、市民の健康、医療を民間に依存している。地域医療を担っている民間医療機関は、看護師不足により閉院を検討しているところもあると聞く。地域医療が疲弊している状況下で、既存の医療のほかに、新型コロナウイルスの5類移行により新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ業務が増加することが予想され、更なる看護師不足が想定される。石巻圏域の高等学校に看護科の設置を県等に要望し、看護師不足の一助とすべきではないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>2. マイナンバーカード交付促進対策を問う</p>	<p>国は、令和4年度末までにマイナンバーカードがほぼ全国民に行き渡ることを目指すとの方針の下、マイナンバーカードの利活用拡大等の国民の利便性を高める取組を推進するとともに、市町村における交付体制の強化に向けた支援を行うなど、適切な広報を含め、マイナンバーカードの普及に取り組むことを、令和4年6月7日に閣議決定した。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 国は、マイナンバーカードを将来的に健康保険証等としての利用が予定され、マイナポイント制度の対象期限を令和5年2月末までとしており、マイナンバーカードの交付率が全国「上位3分の1」以上の市町村に普通交付税の算定に反映するとのことだが、本市の対応は。</p> <p>(2) マイナンバーカードの交付率向上のために、市報等を活用しているが、国・県と比較した交付率と現在の状況は。</p> <p>(3) 本市では令和5年2月を「東松島市マイナンバーカード取得促進強化月間」と位置付けたが、その考えは。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>3. 国道45号上下堤地区の嵩上げ工事について伺う</p>	<p>今年から大雨による冠水防止対策として、国道45号上下堤地区嵩上げ工事が開始予定となっていると聞いている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 近年、豪雨災害の激甚化・頻発化により、国道45号上下堤地区で冠水による通行止めが起きている。一日も早い対策が望まれているが、工事の概要と完成時期は。</p> <p>(2) 国道45号の嵩上げは、どの程度の高さになるのか。嵩上げ工事に伴い、国道45号と市道との交差部分に段差が生じると考えられるが、市道全体の嵩上げと用地確保を含めた対策は。</p> <p>(3) 上下堤地区のほ場整備事業は、令和4年度に新規採択され、県が事業主体となって事業を進めるが、国道45号嵩上げ工事とほ場整備事業の調整は。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>石森 晃寿</p>	<p>4. 過疎対策について問う</p>	<p>人口減少が著しい旧鳴瀬町地区が令和3年度に過疎地域に指定され、市長は、過疎地域からの脱却について、様々な人口増加対策を講じているが、一朝一夕で解決できるものではない。過疎計画を着実に実行していくことが大切である。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 過疎指定から1年10ヶ月経過したが、旧鳴瀬町地区の小野、野蒜及び宮戸の人口動態は。</p> <p>(2) 先の一般質問で、市営牛網別当住宅は市街化区域内にあることから、住宅地として民間への払い下げを行うという答弁だったが、今後の行程は。</p> <p>(3) 令和4年度の過疎計画（ハード事業・ソフト事業）の具体的な事業実績と事業費及び令和5年度の事業計画は。</p> <p>(4) 川下地区センターの駐車場は、敷砂利である。高齢者の利便性向上のために、アスファルト舗装による整備を実施すべきでは。</p> <p>(5) 上下堤地区センターは、八幡神社の境内にあるが、ほとんどの利用者は、路上駐車である。利便性向上と交通事故防止のため、駐車場を含めた環境整備を実施すべきでは。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>井出方明</p>	<p>1. 地域の資源を生かした観光の振興について問う</p>	<p>東松島市第2次総合計画後期基本計画において「地域の資源を生かした観光の振興」を目標に掲げていることから、以下の点について問う。</p> <p>(1) 本市にとって、観光の振興が必要な理由について問う。</p> <p>(2) 昨年、本市は世界の持続可能な観光地トップ100に選ばれたが、これをどのように集客に繋げるのか。また、何が評価され、何が不足しているのか。さらに、GSTC認証取得に向けた努力は行っているのか。</p> <p>(3) 世界の持続可能な観光地トップ100、「有り、触れた、未来」の封切り、仙台空港定期便の拡大、道の駅開業、令和の果樹の花里づくり及び大阪万博開催に伴うインバウンドの増加等で今が観光施策を強く推し進める時と考える。推進施策について問う。</p> <p>(4) 観光客入込数、観光客宿泊数及び再訪者率の現状並びに令和7年度目標達成に向けた具体的施策について問う。</p> <p>(5) 観光DX推進に向けてどのような努力を行っているのか。また、DX推進課とどのような連携を行うのか。さらに、国の観光DX推進補助金を利用する考えはあるか。</p> <p>(6) 観光振興も含めたDX推進には市民のマイナンバーカードの普及が急務と考える。普及率の向上施策について問う。</p> <p>(7) 東名運河の浚渫等の整備によって、カヤック等の初心者練習場としての活用により観光の推進を図るとともに、松島湾の水質改善に繋がると考えるがいかん。</p> <p>(8) 東松島市民が当たり前と思っている本市の良さがサステナブルな観光に繋がると考える。その良さを市民及び市外にどのように伝えていくのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>1. 道の駅の運営・管理はいか</p> <p>に</p>	<p>令和6年春オープンとの予定と聞く道の駅の敷地、駐車場、道路整備事業の入札が執行され、工事予定業者が内定したと承知してる。</p> <p>さて、施設整備面は着々と予定どおり進むこととして、次は運営面・管理面をどのように行うのかが問われる時期に入ってくる。本施設の全体的な経営母体として株式会社東松島観光物産公社が担うと予予市長は発言されている。</p> <p>今後の事業展開をどのように行うのか、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 運営面のノウハウの取り込みは、既になされたのか。</p> <p>(2) 物販の内容について、地場产品中心とするのか。</p> <p>(3) 営業面・管理面の中心となる支配人の配置は、どう人選するのか。</p> <p>(4) 集客の一層の取組として、道の駅隣接地にディスカバリーセンター内のアメリカ海洋大気庁（NOAA）が開発したデータ投影型科学地球儀（SOS）を移設してはいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第3位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>2. 市職員の喫煙と時間的ロスについて</p>	<p>市職員は予め決まった場所で喫煙することで非喫煙者の受動喫煙対策が講じられている。それは現代では当たり前のことである。勤務時間内の喫煙については、喫煙者と非喫煙者をどう評価しているのか、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 喫煙者の1日の勤務時間中の時間的ロスをどう捉えているか。</p> <p>(2) 時間的ロス、不就労時間を人事評価にどう反映しているか。</p> <p>(3) 勤務時間内の喫煙は禁止すべきと思慮するがいかにか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>3. 公共工事での建設資材急高騰に対する対応を問う</p>	<p>昨今の物価の急高騰については、日常生活においても何から何まで値上がりし、様々な支障をきたしている。市民生活の福祉の向上のために実施している市発注の公共工事における建設資材の急高騰についても、例外なくその波が押し寄せている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 工事の積算根拠はどのようなデータからなされているのか。</p> <p>(2) 積算時ベースと発注時ベースとの資材単価の乖離をどう捉え、対応しているか。</p> <p>(3) 入札発注後、工事完了までの間に急高騰した資材価格の差額分の請求は可能か。また、その場合どう対応するのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>齋藤 徹</p>	<p>1. 野良犬、野良猫等に対する餌付けを禁止する条例の制定を</p>	<p>令和4年第2回定例会において、飼い犬、飼い猫に関する条例制定の一般質問が小野恵章議員から出されたが、市の回答は他の自治体の条例も研究するとの答弁であった。本市の農業を盛んに行っている地域でも、例外なく犬猫問題が大なり小なりある状況であり、人間の管理下に置かれていない動物に関しては、自然の摂理に基づいて増減していくべきと思慮される。飼い犬、飼い猫に関しては、一定の配慮がなされた飼育環境にあるであろうことから、人間の管理下にない動物への餌付け行為を禁止する条例を制定すべきと考える。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 地域によっては餌付けによる人間の管理下に置かれていない動物の増加が問題となっている。本市の見解を伺う。</p> <p>(2) 管理下外の動物による農業施設・設備の破壊行為に対する修繕は、誰の責任でなされるべきか。</p> <p>(3) 上記2点について、保健所への相談以外に本市はどのように対応してきたのか。</p> <p>(4) 餌付け行為に対する罰則を含む条例を制定すべきと思慮する。本市の今後の取組はいかに。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>齋藤 徹</p>	<p>2. 小学生へのジャージ交換券の支給を</p>	<p>先日、赤井小学校の赤井いぶき太鼓発表会に招かれ、1年生から6年生までの児童の演奏を鑑賞した。雄壮な演目に心を動かされるものがあったものの、成長期を迎えた児童のジャージの丈が短くなっている点が気になった。保護者の立場からすれば、更に成長するかもしれないとの思いもあり、買い替えのタイミングを図ることは難しい。本市では、中学生へのセカンドジャージ支給の実績もあることから、制度を小学生にも拡充すべきと考える。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 小学生へ在学中の好きなタイミングでジャージ1セットと交換できるクーポン券の支給は、子育て世代への応援や本市の子育てに対する姿勢を示すうえで、非常に効果的と考えるがいかがか。</p> <p>(2) 多くの自治体で当てはまるが、市立の学校においてジャージのデザインは各校異なる。市内共通のデザインにして大量発注・大量生産・大量購入の流れを作り、品質が良く安価なジャージを採用してはどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長・教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>齋藤 徹</p>	<p>3. リモートを活用した庁舎内の効率的運用を</p>	<p>DXを推進するうえで、ZOOM等を用いたリモートの活用は非常に重要な要素であると思慮する。特に、本市においては本庁舎、鳴瀬庁舎、大溜庁舎をはじめ、縄文村歴史資料館等の公共施設や各市民センターが点在しており、移動による勤務時間のロスを省くうえでも早急な整備が求められる。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 通信環境の整備はどの程度計画しているか。</p> <p>(2) リモートでの会議の形態はどのように想定しているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第5位</p> <p>浅野直美</p>	<p>1. 女川原子力発電所核燃料税のUPZ自治体への交付拡大について</p>	<p>本市は、市域の3分の2以上が東北電力女川原子力発電所から概ね30km圏内の「緊急防護措置を準備する区域（UPZ）」にあり、対象となる人口割合は91.9%（35,792人）であり、国及び宮城県の主導により、市民が参加・協力し、原子力災害に係る防災訓練を実施している。</p> <p>防災訓練を行うにあたり、担当職員人件費等一定の所要経費が発生しており、自治体の財政が極めて厳しい状況下で、市長が宮城県知事に対しUPZ自治体への核燃料税交付に関する要望書を提出したことは評価すべきである。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 県知事に提出した要望書の内容について伺う。</p> <p>(2) 新聞報道によると、現在県は原子力防災に関する資機材購入費や訓練経費に充当する別の交付金制度の存在を挙げ、「交付対象の拡大は考えていない」という立場であるということだが、見解を伺う。</p> <p>(3) 本市の動きに他のUPZ自治体が追随するかが重要となる。他のUPZ自治体の動きと今後の連携について伺う。</p> <p>(4) 県では「立地市町である女川町と石巻市に交付しており、交付対象の拡大は考えていない」とのことだが、UPZ自治体のうち人口割合が最も大きい本市として、県知事へ更に強く要望すべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第5位</p> <p>浅野直美</p>	<p>2. 学校給食費無償化による保護者の経済的負担軽減を</p>	<p>これまで一般質問において、多くの議員から学校給食費無償化の提案が挙げられている。保護者の経済的負担を軽減し、子育て環境の更なる充実を推進するため、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 文部科学省では、学校給食費の保護者負担軽減等に向けた取組を自治体に促したいとしている。本市では、この国の促進に沿い保護者負担軽減を図っているが、更なる負担軽減を図るべきである。令和5年度は、どの程度の予算を見込んでいるのか伺う。</p> <p>(2) 県内では、来年度から気仙沼市、富谷市、栗原市が無償化、名取市では中学校での無償化、利府町では小学6学年と中学3学年の無償化を決定した。本市においても段階的にでも無償化を進めるべきと思慮するがいかがか。</p> <p>(3) 学校給食費の無償化は、国の責任において全ての自治体で実施されるよう、県内他市町村と連携し、国に働きかけを行うべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要 旨
<p>第5位</p> <p>浅野直美</p>	<p>3. 国際化を見据えた英語教育活動の更なる充実について</p>	<p>新学習指導要領の実施により、2020年度から小学校で英語教育が必修化された。本市では、ALT（外国語指導助手）を採用し、また、イングリッシュキャンプ等様々な外国語活動の実施、英語検定受験の費用全額補助、市内2校を英語特例校設置等、国際化を見据えた学校教育活動は評価に値するものである。</p> <p>児童生徒の将来的な可能性を広げるためには、国際共通語である英語力の向上は不可欠であり、より充実した英語教育環境を整備すべきであることから、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 文法・語彙力等の知識と併せ、コミュニケーション能力の素地の育成をねらいとし、日常的に英語に慣れ親しむために、現在5名のALTを小中学校11校に不足のないよう増員することを望むがいかがか。</p> <p>(2) 本市では児童生徒1人1台のタブレットを整備していることから、ICTを活用し、遠隔地や海外等の児童生徒、英語話者との対話による実用的な英語教育を検討してはいかがか。</p> <p>(3) 全国の先進的な事例では、生徒が外国人に対し地域の魅力を英語で伝える活動や、被災地を英語で案内する活動等があり、また、松島町では文部科学省の指定を受け、「子ども国際観光科」を全学年で導入し、外国人観光客に英語で観光案内ができる語学力やコミュニケーション能力を育む取組を行っている。本市においても、東松島市の魅力や震災伝承を英語で伝える等、より実践的な英語教育活動を充実させ児童生徒の学びを定着させることを提案するがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第6位</p> <p>千葉修一</p>	<p>1. 道の駅整備計画について伺う</p>	<p>道の駅は三陸自動車道利用者の休憩施設としての役割に加え、本市の産業・観光等の地域経済の活性化に寄与するとともに、石巻圏域の地場産品や加工品の販売を促進する施設でもある。</p> <p>また、高台に立地することから、災害時の一時避難場所の役割も担っている。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 現在の国土交通省及び宮城県との協議の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 駐車場整備・建物建築のスケジュールを伺う。</p> <p>(3) テナント・コンビニエンスストアの募集はどのように行うのか伺う。</p> <p>(4) 生産者への説明会は今後どのように行うのか伺う。</p> <p>(5) 農産加工施設の使用目的を伺う。</p> <p>(6) 経営母体・運営をどのように考えているのか伺う。</p> <p>(7) 三陸自動車道上下線1日当たり約37,000台の交通量だが、本施設の1日当たりの使用客数を何名と考えているのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第7位</p> <p>大橋博之</p>	<p>1. 「おいしい給食」の取組を強化すべき</p>	<p>東京都足立区が取り組む「おいしい給食」について、令和5年1月に会派で視察研修を行った。取組の目標は、「おいしい栄養のバランスのとれた給食」を実施するとともに「食育」を通して小中学生の健康管理に努め、子どもの頃からの望ましい食習慣とその定着を図ることにより子どものみならず、全ての世代の健康増進につなげ野菜摂取が当然である地域社会を実現することである。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 足立区では、自校調理方式、学校ごとの独自の献立・食材個別購入・栄養士の配置などを行っている。本市の給食センターの運営でも改善できる点があるのではないか。</p> <p>(2) 足立区では、おいしい給食指導員を配置し、毎月「おいしい給食検討会」を開催している。本市での取組はどうか。</p> <p>(3) 食育の取組について、本市の特筆すべき事項はどのようなものか。</p> <p>(4) 足立区では、この取組をスタートしてから年間平均残菜率が大幅に改善された。本市の残菜率の推移はどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第7位</p> <p>大橋博之</p>	<p>2. 健康寿命の延伸を推進せよ</p>	<p>現在の日本人の平均寿命は、男性が世界2位の81.64歳、女性が世界1位の87.74歳であり、高齢化率は28.9%である。健康寿命の延伸が今後の医療介護等の社会保障費の負担軽減に貢献するものとする。本市でも健康寿命の延伸への取組を強化すべきと思料する。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) スポーツ健康都市を宣言している本市として、高齢者への運動指導の現状は。</p> <p>(2) 健康維持には食生活の改善が重要である。高齢者への啓発活動は。</p> <p>(3) 高齢者の疾病の早期発見のための健康診断の現状は。</p> <p>(4) 高齢者が社会との関りが希薄にならないようにするための取組は生涯学習の充実が大事だと考える。現在の取組状況は。</p> <p>(5) 以前にも質問した健康ポイント制度の推進が必要と考える。今後の利用者の増加をどのような手法で取り組むのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第8位</p> <p>熊谷 昌崇</p>	<p>1. 物価高騰対策について</p>	<p>昨今のロシアのウクライナ侵攻、円安、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の複数の要因により、様々な物価が高騰している。本市では、農業、漁業、商工業、子育て世帯等に対する様々な施策を講じているが、電気料金の高騰や物価高等の影響を受け、困難に直面しているのは、特定の業種や特定の世帯だけではない。全国各地では、物価高騰支援策を打ち出す自治体が増えている。そこで、本市でも特定の業種や特定の世帯にとらわれない、全市民を対象とした補助金等の創設を速やかに検討すべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第9位</p> <p>阿部秀太</p>	<p>1. 社会的ひきこもりの理解と対応について</p>	<p>本市における令和4年1月のひきこもり実態調査アンケートでは、有効回答6,007世帯中85世帯に「ひきこもり状態がある」との回答を得ている。</p> <p>ひきこもりは全国的に増加傾向にあることから、以下の点について伺う。</p> <p>(1) ひきこもりへの行政の支援体制として、①家族(本人)の相談窓口、②家族会、③本人の居場所・たまり場が必須とされている。これらの整備状況はいかに。</p> <p>(2) ひきこもりの対応には家庭から相談窓口へどうつながるかが課題であり、特に初期段階において、周囲の対応いかんでその後が変わるととらえる。このことについて考えを伺う。</p> <p>(3) ひきこもりの高年齢化が顕在化し、8050問題とも言われており、本人が安心するためにライフプランの策定をはじめとする経済的な基盤づくりが必要とされている。このことについて考えを伺う。</p> <p>(4) 女性については「専業主婦」や「家事手伝い」という言葉があるため、ひきこもりの状態を見えにくくしているとも言われている。このことについて考えを伺う。</p> <p>(5) ひきこもりの回復に向けて対話が重要であり、1対1よりも、チームでの対応の方が効果が上がるという報告がある。このことについて考えを伺う。</p> <p>(6) 回復段階において、小さな成功体験を積み重ねていくことが有効であるとされ、フリースペースなどでの農作業が適していると考えがいかがか。</p> <p>(7) ひきこもりは誰にでも起こる可能性があることを認識し、偏見を取り除き、「支援する側・される側」の壁をなくすことが重要とされている。このことについて考えを伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第9位</p> <p>阿部秀太</p>	<p>2. 家族農業の活性化について</p>	<p>国際連合は、2017年の国連総会において、2019年から2028年までを国連「家族農業の10年」として定め、加盟国及び関係機関等に対し、食料安全保障確保と貧困・飢餓撲滅に大きな役割を果たしている家族農業に係る施策の推進・知見の共有等を求めている。</p> <p>また、農林水産省は、家族農業経営について、地域農業の担い手として重要と考えており、食料・農業・農村基本法に基づき家族農業経営の活性化を図ることとしており、様々な施策を講じている。</p> <p>しかし、本市においては、農林業センサスの2015年と2020年を比較すると、個人経営体数が740経営体から558経営体と大きく減少している。これは、地域経営の視点からも危機的状況ととらえ、何らかの活性化策が必要と思慮するところである。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) スマート農業や有機農業の普及推進、道の駅開設に呼応したタイムリーな投資が必要な段階と認識する。農業用機械・施設・資材等の購入について、市独自の補助事業の創設を提案するがいかがか。</p> <p>(2) 資金利用に関する信用保証料の全額市負担や利子助成等、使い勝手の良い融資制度を設けてはいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第10位</p> <p>長谷川博</p>	<p>1. 離農の危機、市独自の生産資材高騰対策を</p>	<p>本市の基幹産業の農業だが、エネルギーや飼料・肥料等の原材料の多くを海外に依存していることから、ウクライナ危機により生産資材は軒並み高騰。自給率向上どころか、食糧生産、農業の再生が困難に直面している。一方で、コロナ禍による農畜産物の消費減退もあり、品目によっては価格の低迷も追い打ちをかけている。震災からようやく立ち直りつつある本市の農業経営、担い手の高齢化等で徐々に農業離れが進行しているが、このままでは離農が雪崩のように進むのではないかと危惧する。</p> <p>また、地域の農家が離農することで農業の活力が失われ、地域を支える多面的機能までも失われてしまうことが懸念される。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 今日の本市の農家、農業生産現場が置かれている状況・実態をどのように把握されているか。</p> <p>(2) 離農や耕作放棄につながらないように、生産資材高騰に対して農業団体と十分協議を行い、市独自の対策・支援施策を行うべきと考えるがどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第11位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>1. 牛網地区への取組を問う</p>	<p>東日本大震災発生から、早くも12年が経とうとしている。この12年の間には国内においても様々な自然災害が発生し、いつ、どこで、どんな災害が発生するのかわからず、常日頃の災害への備えは必然的に行われていなければならない。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 牛網堤ため池については、先に行われた宮城県への「農林水産業等の振興に関する要望会」において、防災重点農業用ため池緊急整備事業により計画的に防災工事に取り組むと総括的な意見をいただいた。その後の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 牛網堤ため池沿いの林道鷹の巣山線については、先に舗装整備が行われたが、その幅員は狭隘であり車両のすれ違いが困難である。今後、有事の際の避難道路という観点からも拡幅改良すべきと考えるが、いかがか。</p> <p>(3) 10年に1度という今冬1月末の寒波は近年にない寒さであった。牛網地区の主要道路の除雪については、スピーディに実施された。しかしながら、歩道の除雪は滞っていた。牛網地区の通学路の歩道の除雪について、今後の対策を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第11位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>2. 子育て世帯の経済的負担を軽減せよ</p>	<p>人口減少が予想以上の速さで進み、深刻な状況となっている。これからも持続可能な東松島市の実現のためには、これまで以上に子育て環境の充実に向けた取組が必要と考える。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 宮城県内の多くの自治体においては、既に自治体独自の「出産祝い金」を支給している実態がある。人口減少が進むなか、各々の自治体の支援策は競争のようにも思われるが、どのように捉えているのか。</p> <p>(2) 2019年から国の施策により3歳児から5歳児までの幼児教育・保育が無償化となり、保護者の経済的負担は軽くなったが、副食費についてはいまだ保護者負担である。</p> <p>また、住民税非課税世帯以外の0歳児から2歳児については無償化から除外されているため、子どもを多く養育している保護者の経済的負担は大きい。</p> <p>そこで、3歳児から5歳児の副食費の助成及び所得制限なしで全ての0歳児から2歳児の保育料を無償化することを提案するがいかがか。</p> <p>(3) 本市は18歳以下の医療費の無料化を宣言し、子育て環境が良いまちをPRしている。以前、18歳以下へのインフルエンザ予防接種に対する助成制度について一般質問した際、市長は県内の動向を注視しながら検討したいと答弁した。その後の検討状況を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第12位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>1. 東松島市史 編纂を提言する</p>	<p>東松島市は、平成17年度に矢本町と鳴瀬町の2町合併により誕生した。以来18年を経ようとしているが、いまだ市史は編纂されていない。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 今まで、市史編纂についての気運はどうであったか。</p> <p>(2) 市史編纂に当たっての資料や写真の保管状況はいかに。</p> <p>(3) 市史編纂には時間を要するが、取組の意志について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第12位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>2. 子どもに関する諸課題について問う</p>	<p>本年4月1日に内閣府の外局として「こども家庭庁」が設置される。少子化、児童虐待、子どもの貧困などの諸課題を一元的に対応する機能を持った組織と認識しているが、子ども施策の財源の確保も含めて課題も多いと思料する。今後、「こども家庭庁」の施策の内容についての積極的な情報収集が肝要であろう。</p> <p>一方で、国に先駆けて、市独自でできることも模索・推進する必要があると考える。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 本市の子どもの貧困の現状と対策について。</p> <p>(2) 子どもが安全で安心して過ごせる放課後の学習の場・居場所づくりについて。</p> <p>(3) 児童虐待防止に向けた関係機関との連携について。</p> <p>(4) 子育てには妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援が必要と考えるが、本市の現状は。</p> <p>(5) GIGAスクール構想で教育現場にICT環境が整備されたが、その活用事例と導入効果は。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長・教育長】</p>